

あらうま!

2008年 10月25日 同志会西多摩ブロック

実りの秋!

あっちでこっちで研究授業の花盛り!秋は、それぞれの学校で、今年度の教育実践の成果を確かめるべく研究授業が行われます。授業者は、指導案づくりでおおわらわというところですね。これからの方、頑張ってください!

新学習指導要領の移行も年度を追って随時進められていきます。何のどこがどう変わり、どう準備をしていくのか、これもまた、大変な作業です。子どもたちの実態を踏まえて、学校ごとの取り組みが始まりそうです。頑張らねば!!

さて、10月例会の報告から・・・!

18日(土)八王子の上川口小で「タッチボールの実技」ということで、多摩サークルの島村さんを講師に招いての例会でした。多摩サークルでは、タッチボールの研究が長く、タッチボールの面白さやその教材価値について、学べる良い機会となりました。

タッチボールのやり方は、ボールを持ち走り込んで、ゴール(自分達の陣地=マット)の上にボールをつける、又は持って入り込むことで得点となるゲームです。ただボールを持つ子が相手にタッチされると、その場に止まり、味方にパスをしなければなりません。もちろん相手は、ボールを取りに来ます。人数は2人对2人から始まります。2人ゲームだと、ボールを持つ・パスを受けるが決まってくるだけに、攻めや守り方がわかってくると、動き方が難しくなります。やってみて感じたことは、とにかく大人でも夢中になります。攻防が一瞬に入れ替わるので、その切り替えが激しく体力のいる運動になります。作戦といっても、ボールとゴール、そして味方の位置との関係で、2人が動きの中で体でつかんでいくことが必要となってきます。特に相手を振り切ったり、ノーマーク空間を意図的に作ったりしていく見え方・でき方が必要です。ゲーム人数は、2人・3人・4人とゲーム人数を変えていき、人数の変化に応じて学習課題も高まっていくのです。

島村さんが言うには、バスケットにつながる教材になるということです。確かに、ゴールの形態は違いますが、動き方は、攻防が乱れスピーディーでボールの流れを作りながら、ゴール前に切り込んでいくのはバスケットボールの面白さと同じかと感じさせられました。

課題としては、ボール運びや攻めの局面をゲームの中から取り上げて、モデル学習として学ぶこと→ 2対0のような学習も必要なのか?! 攻防の入り乱れるスピーディーな動きに、どの子もついていけるのかな?! このあたりは、子どもたちの実態と、

学ばせたい内容や教材との関係で、確かめたいところのように感じられました。

それにしても、ルールは簡単で確かに面白いゲームであること、子どもたちはすぐに飛びつきそうであることは間違いありませんでした。

最後に、バスケのシュート練習を、一度に全員ができる方法として、壁を使ったジャンプシュートの練習は、勉強になりました。膝の曲げや手首のスナップ、そしてシュート・キャッチなどができますね、感心しました。

実技を通すことで、「わかることとできること」が一体になることで、より本質に迫れるということ・・・ですね。

参加者は、10人。若い先生の顔が増えてきました。次回も楽しみです。

みなさんの声から・・・・・・・・！！

◎ 多摩サークルで、ずっと取り組んできている「タッチボール〜タッチバスケ」。実技を交えながらの島村さんの提案は、学ぶところが多く勉強になりました。

2対2へ入る前に、2・0の中身が入ることもわかり、バスケよりも分かりやすく、学べるなど確信しました。そして、今まで気になっていた二対のゴールについては、作戦が広がり、シュートしやすくなることもわかりました。しかし、その分タッチボールが目指しているものが、何なのかが少しわからなくなってきたこともあるので、また自分なりに整理したいと思います。とても充実した時間でした。ありがとうございました。《Cさん》

◎ 島村さんから、タッチボールについて教えていただいて、いろいろと考えることができました。

タッチボールで教える中身が、バスケットボールなど他の球技と共通のものが多くあることも、よくわかりました。タッチの意味についても、考えることができました。こんなに考える中身があることだとは、今まで考えてなかったもので、今日一日、本当にありがとうございました。参加した人と楽しく実技ができたことも良かったです。《Iさん》

◎ タッチボール ゲームを通して、学ぶことができる。



ゲームから出てきた課題について練習を行う。



ゲーム隊形 3：3から、2：2



個人の技術向上、教え合い活動



3：3のゲームへ

今日のお話や実技を通して、どのように指導計画を立て、何を子ども達に学ばせた
いかを考える場となりました。 ありがとうございます。

《S さん》

- ◎ 実技を通して学習を深めていくことの大切さを再確認しました。

ゴール1枚ずつ、の2人対2人の学習内容と課題、ゴール2枚（離して）の3人対
3人の学習内容と課題がとてもよくわかりました。

3人対3人での攻めでは、3人目の動きが大切で、パスの手からボール
が離れたら、3人目がすぐに動くことが重要だということもよく分かりました。これ
から、3年生で実践したいと思っています。

《M さん》

- ◎ タッチボールをもう一度考え直すチャンスを与えていただき、ありがとうございます。
タッチで2：0をどうつくるかという課題をもらいましたので、考えてみたいと思
います。

若い人がたくさんいて、いいですね。知っている人だけに提案するつもりで来たの
で、びっくりしました。

《K.S さん》

11月例会の案内！

《同志会の球技運動について・・今までの実践を通して！》

レポーター 地下 池田

日時→11月8日（土）pm1:00～

会場→八王子市上川口小学校

☎042-654-4403 042-552-1631 渡辺



ボール運動といっても、いろいろありますね。今までどんなボール
運動をやってきましたか。取り組んできたことを振り返りながら、そ
のよさやおもしろさ、指導しての難しさ。そんなことを掘り下げてみ
ましょう。そして、ボール運動で学べることって何か！そのための指
導の在り方もね。 低 中 高学年のボール運動の教材配列も！

***日程変更！**→同志会東京のワイワイサークル案内での日程（15日）より、
1週間早まっています。よろしくお願いします。